

磁気疼痛治療装置「エンジェルタッチ(AT)」

装置の概要

【概 略】

コイルから発生させた交番磁界を体外から照射し、疼痛を緩和する磁気疼痛治療装置です。
一般的な痛み、慢性痛、神経障害性疼痛に有効です。

【特 徴】

1. 交番磁界(83.3MHz、2kHzの磁界)を照射する非侵襲的な疼痛治療装置。
電極から電流を流す方式ではないので、非侵襲的に治療が行えます。
2. 慢性痛にも効果があります。
3. 治療用の磁界エネルギーが微弱です。
2KHz : 12~14 μ テスラ
(地磁気の3分の1、一般的な磁気バンソウコウの3000~5000分の1)
83.3MHz : 400~520ナノテスラ
(地磁気の約100分の1、一般的な磁気バンソウコウの約10万分の1)
4. 電源 DC3V(単4電池2本使用)
5. 寸法 縦62mm×横97mm×厚さ25mm



目的

磁気治療機器が、線維筋痛症患者の痛みを抑制できるかどうかを検討する。
同時に機器の安全性を検討する。

線維筋痛症 (FM) とは・・・

全身に激しい痛みが生じる病気。

原因は不明で、血液検査やCTスキャン、MRIを検査しても異常が発見できない。

この病気が診断できる特別な検査は今の所なく、治療法も確立されていない。



対象と方法

【対象】対象の線維筋痛症(FM)患者は以下の条件を満たすものである

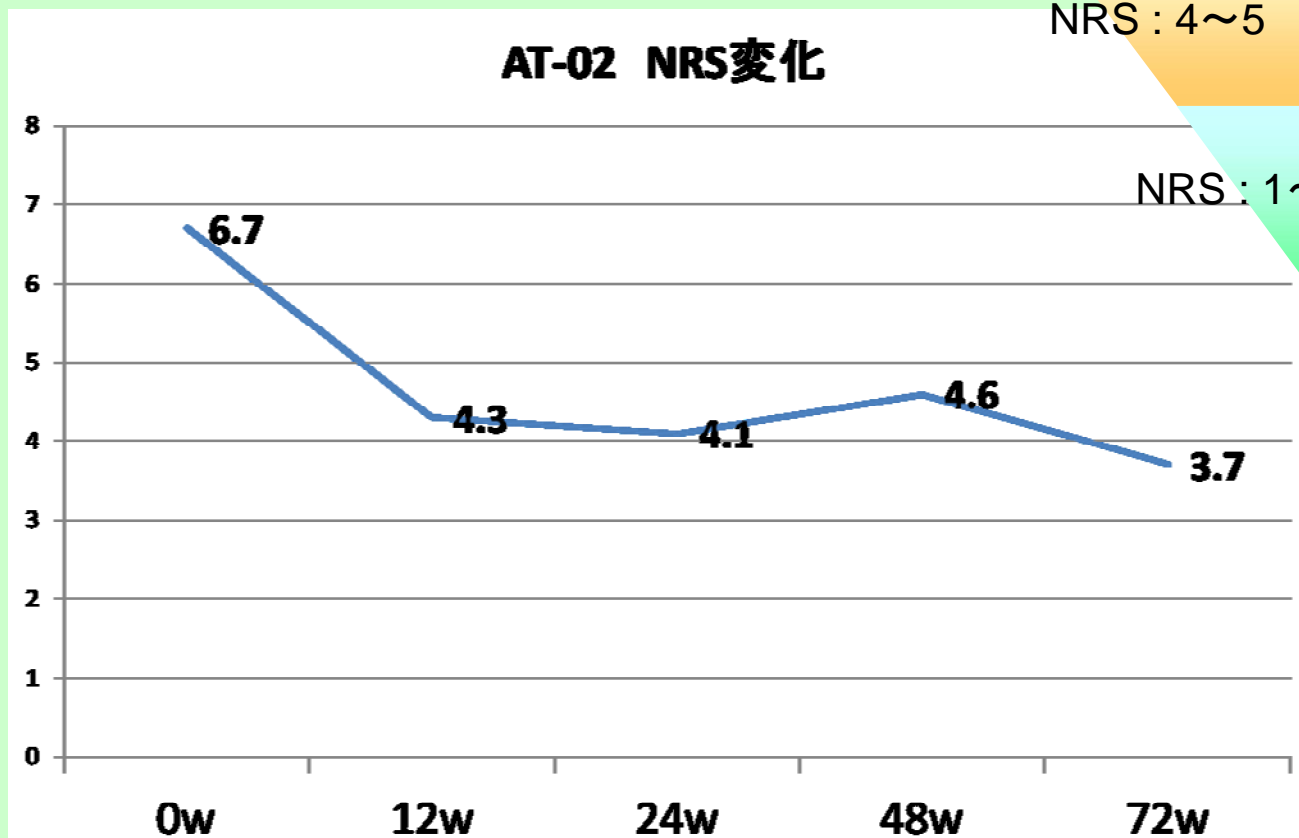
- ① ACR1990の基準を満たすFM患者
- ② 痛みが3ヶ月以上持続している
- ③ NRSスコア(痛みの評価スケール)が10分の4以上である
- ④ これまで3剤以上の治療薬を使用して、疼痛の抑制効果が十分でなかった難治性症例
- ⑤ 外来において機器を10分間1回使用して、疼痛抑制効果があったもの
- ⑥ この研究に文書で同意を得たもの

【方法】

- ◆ 機器は非盲検で使用
- ◆ 機器を1回4箇所、1日2回までを最大として被験者の自宅で使用
- ◆ 被験者は、「痛みの日誌」として、NRSスコアを記載(副作用を含む)
- ◆ 併用する薬剤は8週までは固定し、その後、症状によって減量可能



エンジェルタッチ(AT-02)長期の結果(72W)



NRS : 9~10 日常生活が困難

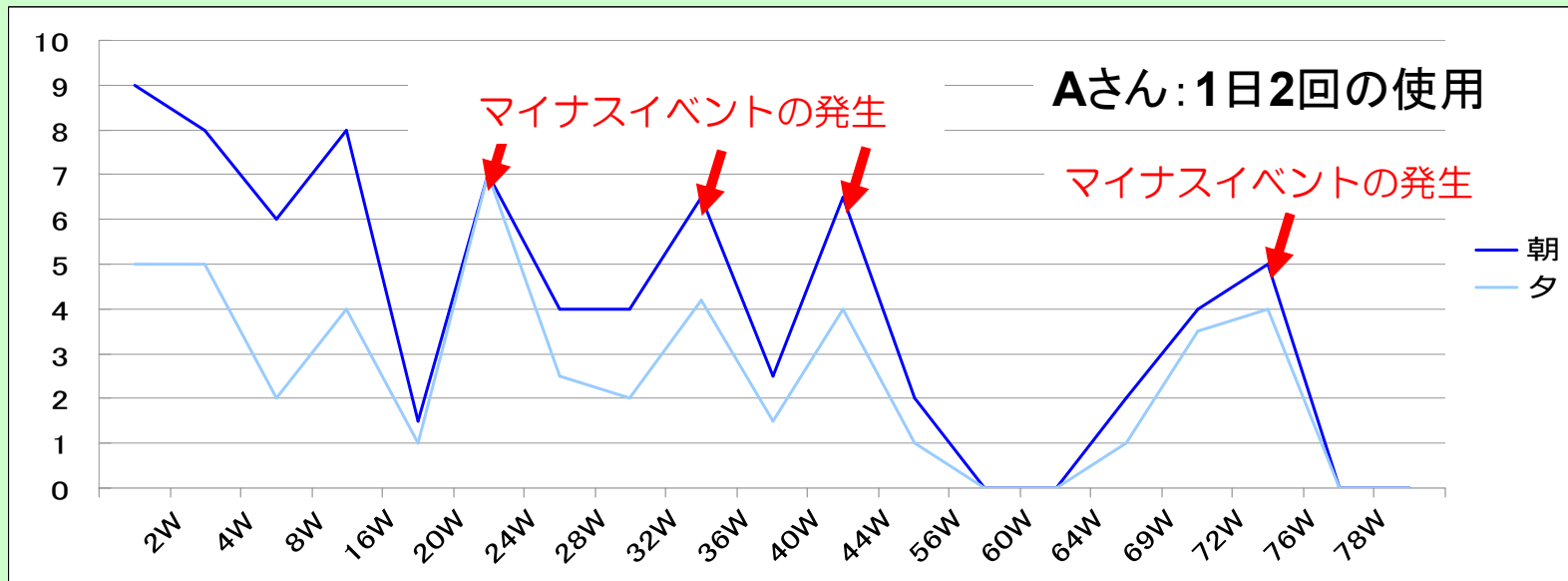
NRS : 4~5 日常生活ができる

NRS : 1~2 就労可能

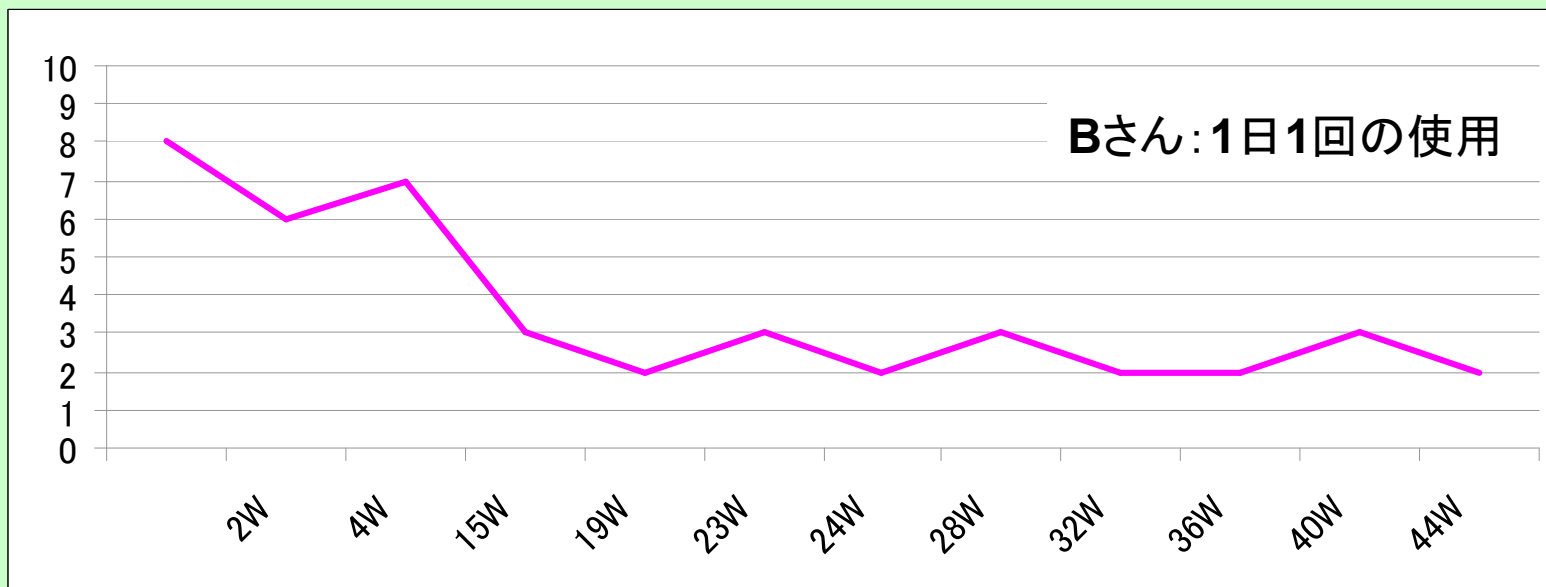
NRS(痛みの評価スケール)が平均で3.0低下した



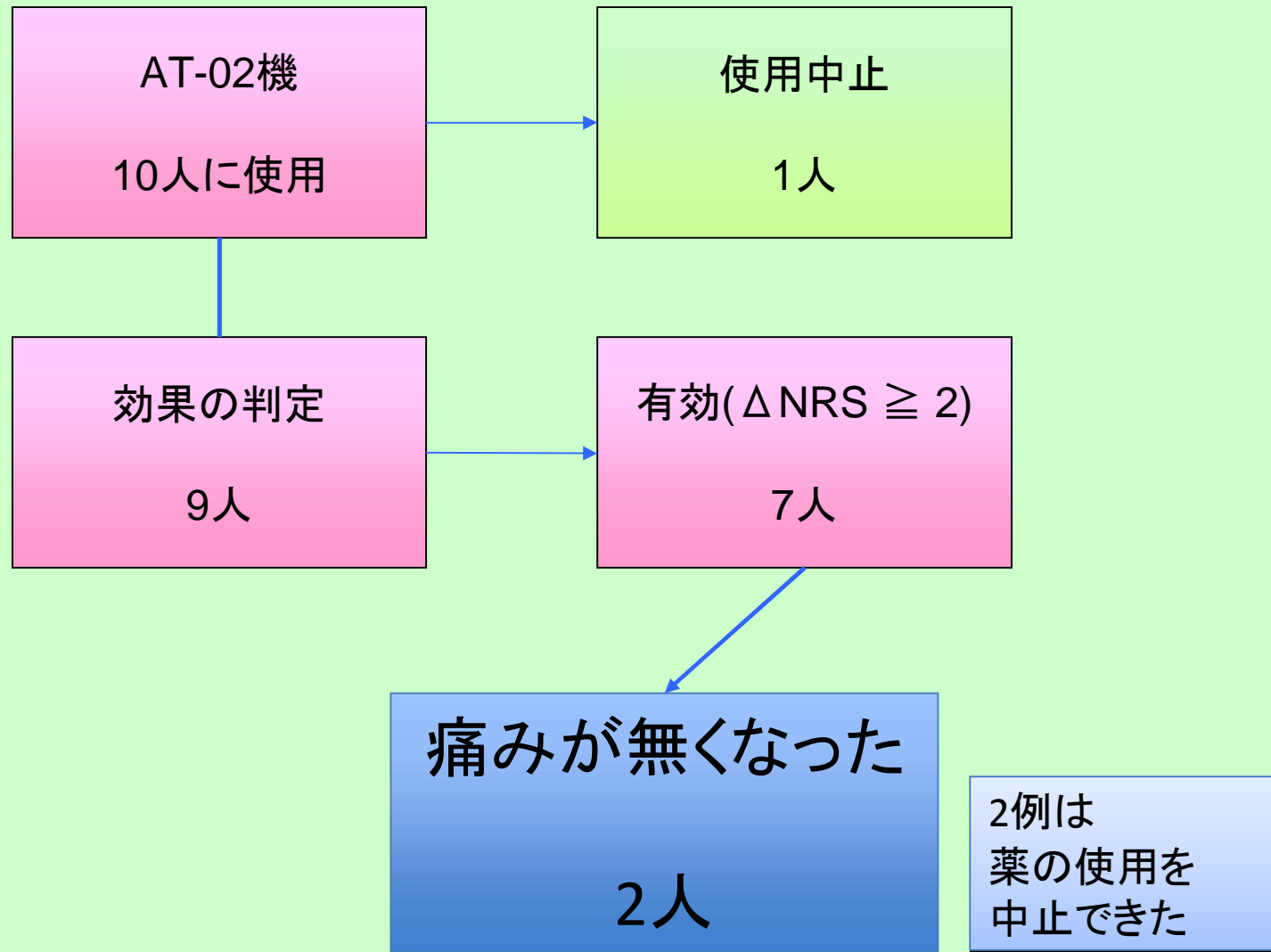
NRS(痛みの評価スケール)の変化



※マイナスイベント: 不快に思ったり、つらく感じる出来事



エンジェルタッチ「(AT-02)の長期:72Wの結果(まとめ)」



現在まで1例の副作用も認められなかった

